

**令和7年度 全国学力・学習状況調査  
【国語】各項目別・問題別 集計結果分析**

令和7年度 【国語】項目別 平均正答率との差 (平均正答率) - (全国公立平均正答率)

項目	全体	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式		
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
東京公立小6年との差	3.2	1	3.8	2.6	A 話すこと ・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	2.1	3.3		4	1.5	0.5
十条小6年との差	-0.8	4.6	6.5	5.8	-10.5	-5.7	2.3	5.4	-4		-1.4	1.2	-4.5

	全体	(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化 に関する事項	A 話すこと ・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	知識 ・技能	思考 ・判断 ・表現	主体的に学習に取り組む 態度	選択式	短答式	記述式
東京公小6平均正答率(%)	70	77.9	66.9	83.8	69.9	72.4	61	76.6	67.1		68.7	80	59.3
十条小6平均正答率(%)	66	81.5	69.6	87	55.8	63.8	59.8	79.9	59.8		63.3	79.7	54.3
全国公小6平均正答率(%)	66.8	76.9	63.1	81.2	66.3	69.5	57.5	74.5	63.8		64.7	78.5	58.8

令和7年度 【国語】問題別 平均正答率との差 (平均正答率) - (全国平均正答率)

問題番号 出題の趣旨	1ー 目的や意図に応じて、日常生活の中から話を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかを見る	1二 情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかを見る	1三 (1) 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかを見る	1三 (2) 話し手の考え方と比較しながら、自分の考え方をまとめるができるかどうかを見る	2ー 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかを見る	2二 図表などを用いて、自分の考え方を伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る	2三 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考え方を伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る	2四ア 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかを見る	2四イ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかを見る	3ー 時間の経過による言葉の変化	3二 (1) 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかを見る	3二 (2) 事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかを見る	3三 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかを見る
東京公立小6年との差	4.7	3.8	3.5	2.6	4.2	3.7	0.8	2.1	0	2.6	2.6	4.9	6.2
十条小6年との差	-12	6.5	4.3	-23.7	-17.7	9.5	-9.1	3.2	6.2	5.8	-5.5	9.6	4.9

問題番号 出題の趣旨	1ー 目的や意図に応じて、日常生活の中から話を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかを見る	1二 情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかを見る	1三 (1) 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかを見る	1三 (2) 話し手の考え方と比較しながら、自分の考え方をまとめるができるかどうかを見る	2ー 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかを見る	2二 図表などを用いて、自分の考え方を伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る	2三 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考え方を伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る	2四ア 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかを見る	2四イ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかを見る	3ー 時間の経過による言葉の変化	3二 (1) 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかを見る	3二 (2) 事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかを見る	3三 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかを見る
東京公小6平均正答率(%)	58	66.9	75.3	76.3	69.7	85.5	62.1	83.7	72.1	83.8	84.2	56.2	47
十条小6平均正答率(%)	41.3	69.6	76.1	50	47.8	91.3	52.2	84.8	78.3	87	76.1	60.9	45.7
全国公小6平均正答率(%)	53.3	63.1	71.8	73.7	65.5	81.8	61.3	81.6	72.1	81.2	81.6	51.3	40.8
東京公小6無解答率(%)	0.8	0.8	0.9	0.9	1.2	1.2	5.9	7.8	5.4	2	3.7	3.4	4.7
十条小6無解答率(%)	2.2	0	0	0	0	0	8, 7	2.2	0	0	2.2	0	4.3
全国公小6無解答率(%)	0.5	0.5	0.6	0.6	0.8	0.8	5	7.2	4.3	1.3	2.9	2.4	3.4